

## 4. 調査結果

### 4-1. 各地点の概況

#### 1) 地点1

福生市にみられる多摩川沿いの段丘面は上位から立川段丘面、拝島段丘面の順になり、この拝島段丘崖から多くの湧き水が見られます（図1参照）。さらに多摩橋よりも上流川では下位に二段の段丘面があり、上から天ヶ瀬段丘、千ヶ瀬段丘と呼ばれています。地点1はこの天ヶ瀬段丘の段丘崖下部からしみだすように湧き出ています。古くは水窪と呼ばれ、段丘上のケヤキを中心とした雑木林は現在では中福生せせらぎ公園となっています。

#### 2) 地点2

地点1と同じく天ヶ瀬段丘崖からの湧き水です。清岩院の境内の数カ所から湧いていると考えられます。現在は本堂前の池をうるおし、せせらぎとなっています。この清岩院の湧水は東京の名湧水57選に選定されています。

#### 3) 地点3

通称、逆川と呼ばれる場所で現在は個人宅の敷地内に湧出口があります。清岩院と同様に澄んだ水が池から流れ落ちています。

#### 4) 地点4

地点4から以下の地点8にいたるまですべて拝島段丘崖からの湧き水です。地点4は通称、縞屋の滝と呼ばれ、福生市内でおそらく最も湧出量の多い湧き水と考えられます。湧出口周辺はアラカシなどの常緑広葉樹に覆われ、滝の音は聞こえますが、湧き水はなかなか見ることができません。

#### 5) 地点5

ほたる公園の上流側に位置する湧き水です。ほたる公園のホタルを育てている水もこの湧き水を利用しています。

#### 6) 地点6

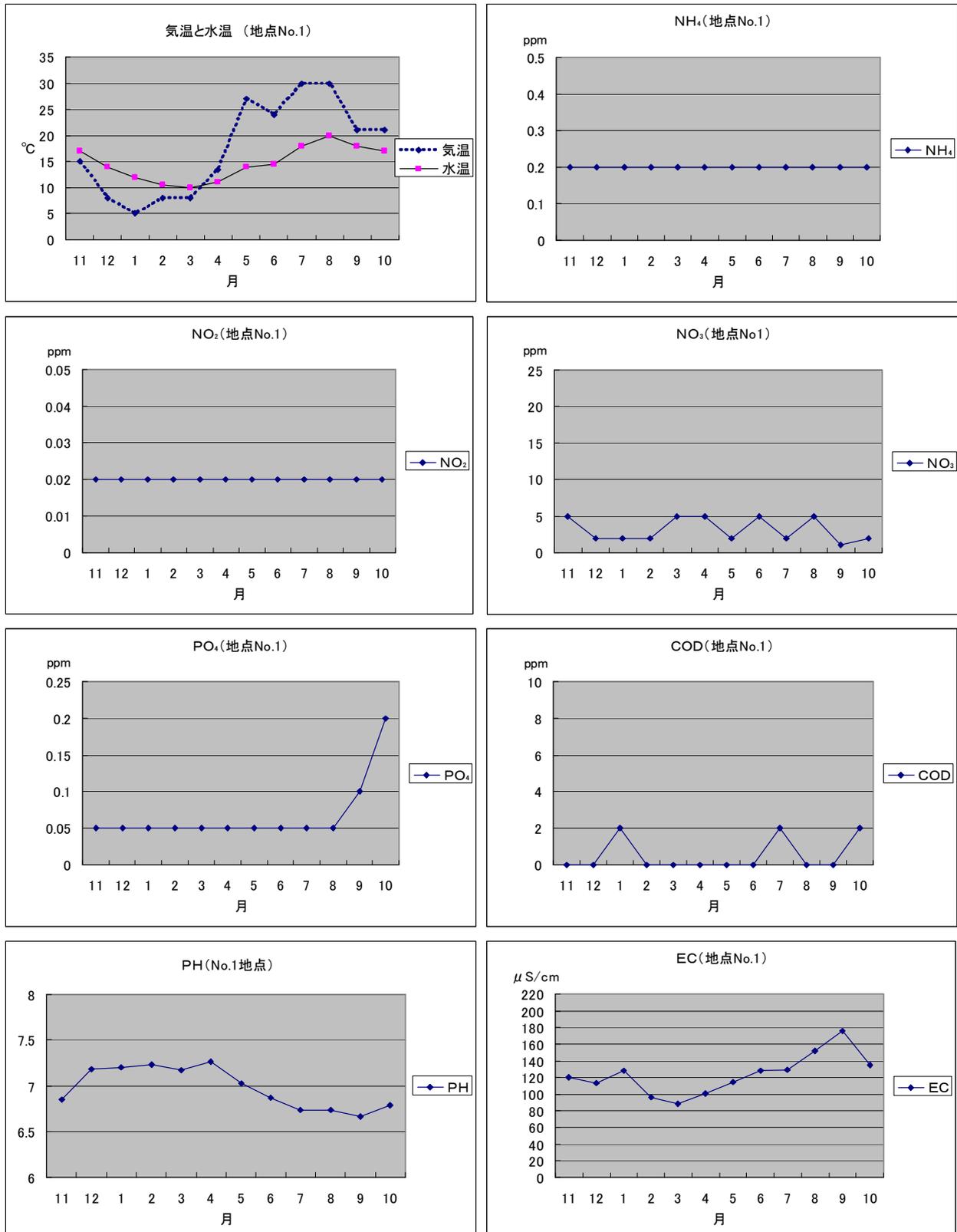
ほたる公園の下流側にあり、玉川上水へ上っていく坂道の途中の崖から流れ出しています。

7) JR五日市線鉄橋のすぐ近くにあり、通称、旧片倉下とよばれる湧き水です。湧出量はそれほど多くありません。

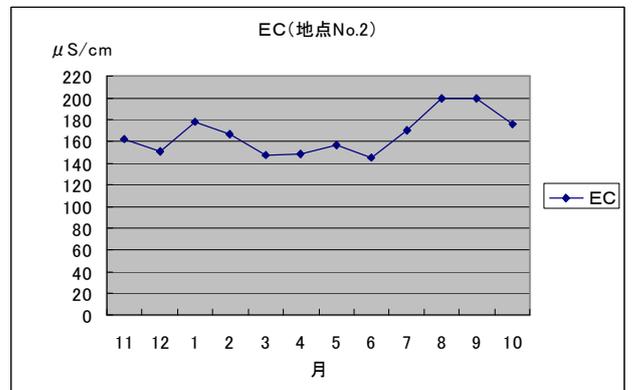
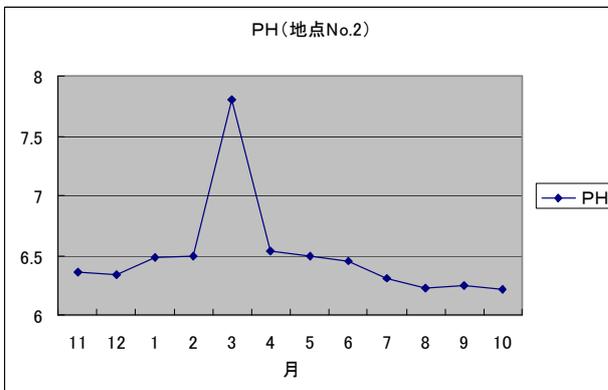
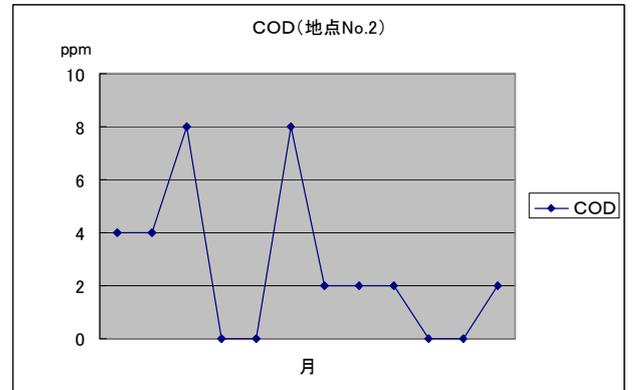
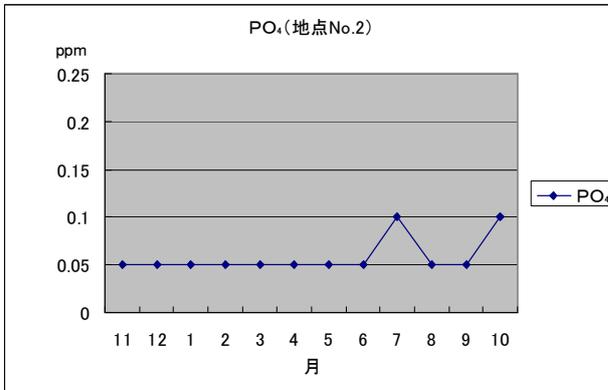
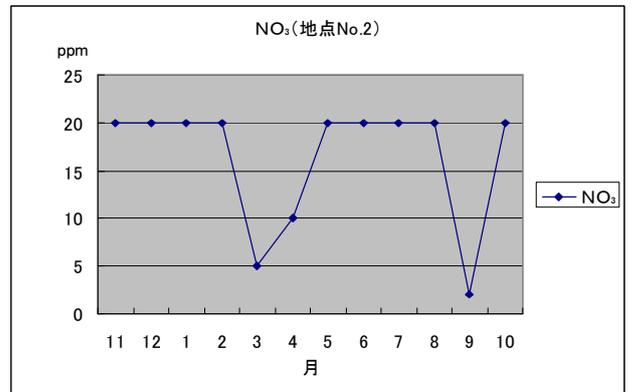
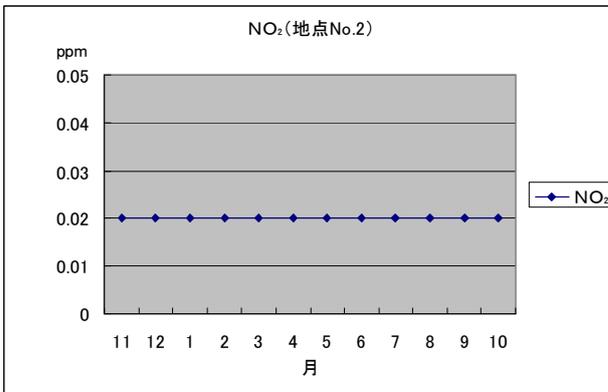
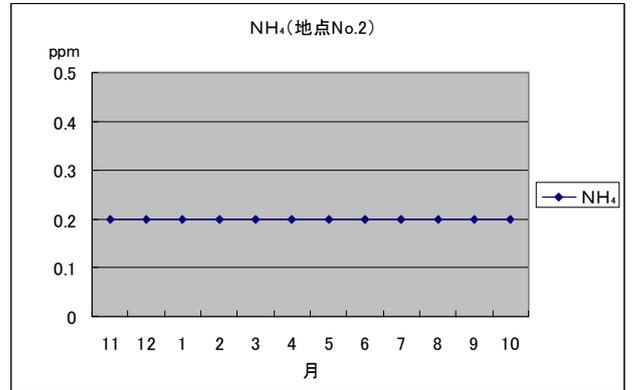
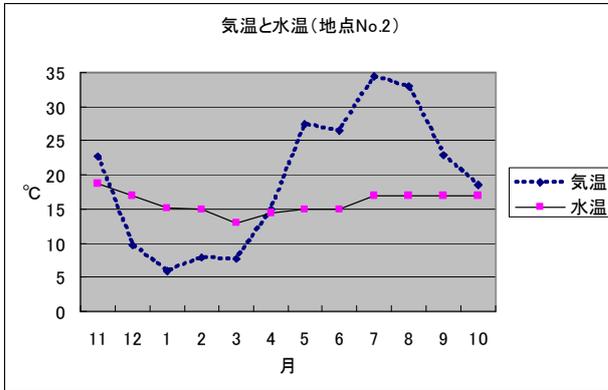
8) やはり拝島段丘崖からしみ出るように湧きだしています。今回の調査では、唯一、湧出が一回確認されないこと（平成18年1月）があった湧き水です。

## 4-2. 各地点の調査結果

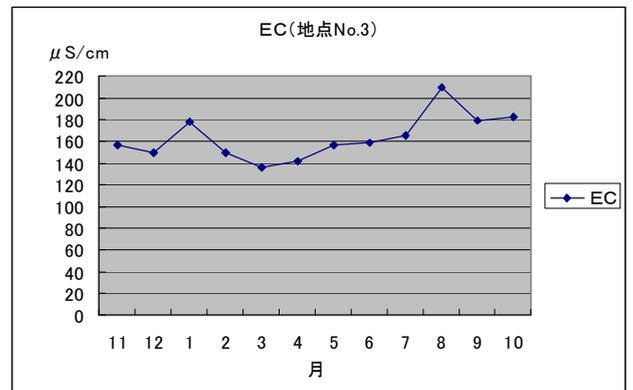
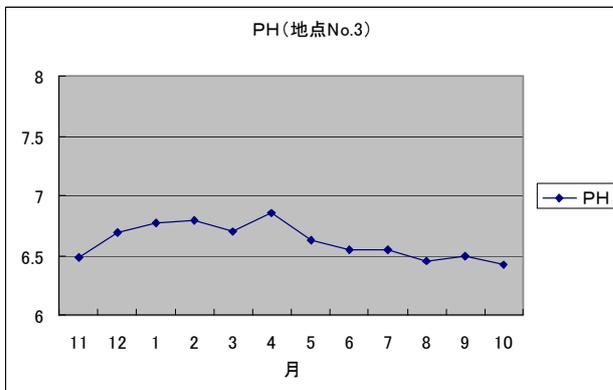
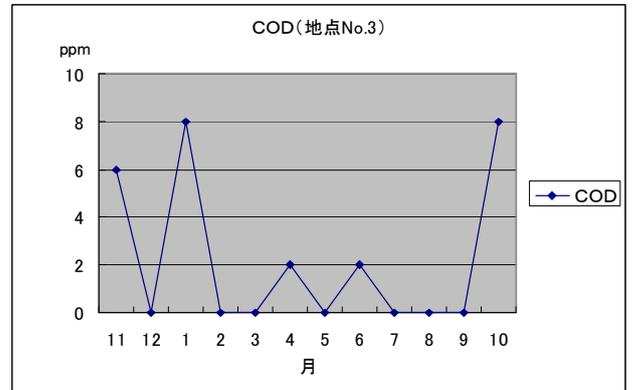
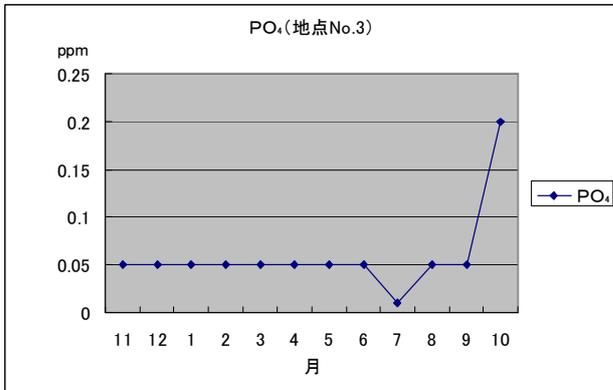
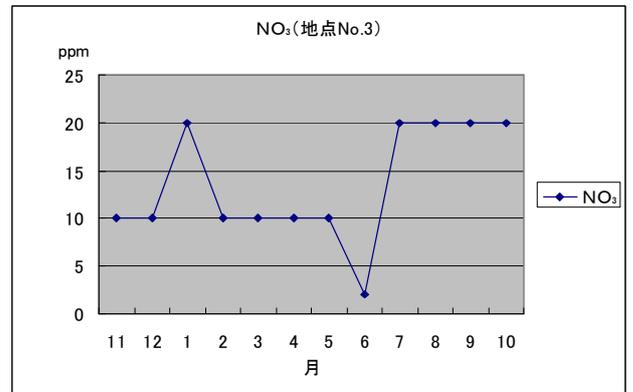
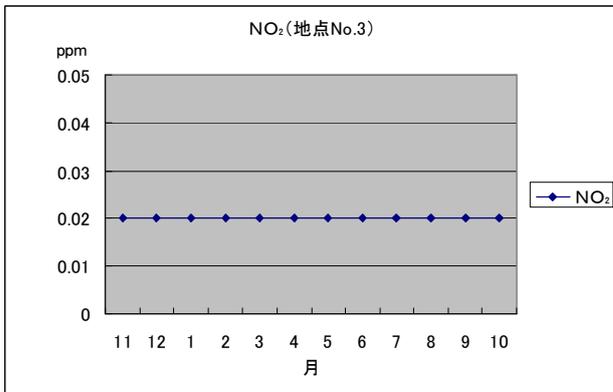
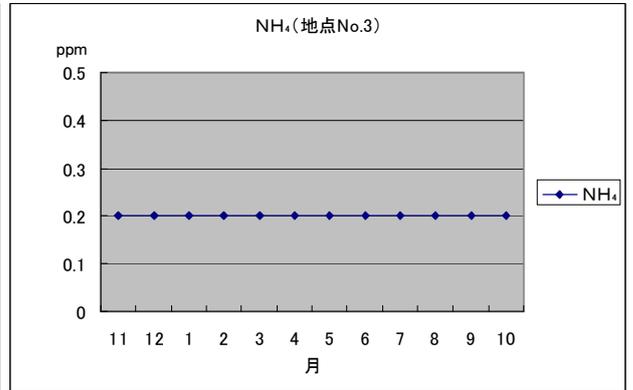
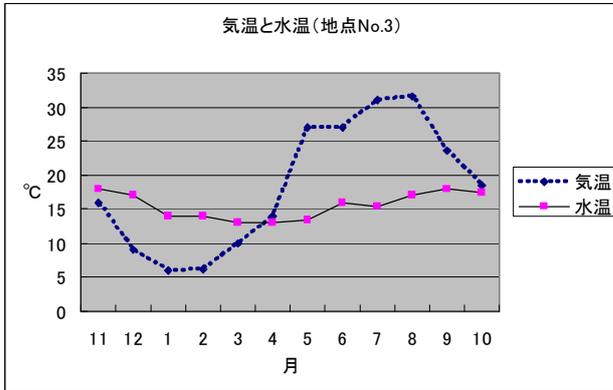
### 1) 地点1



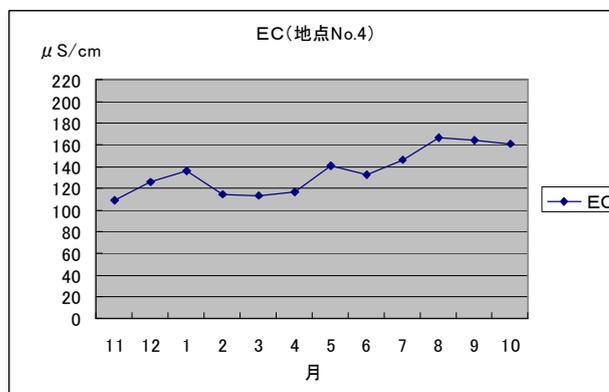
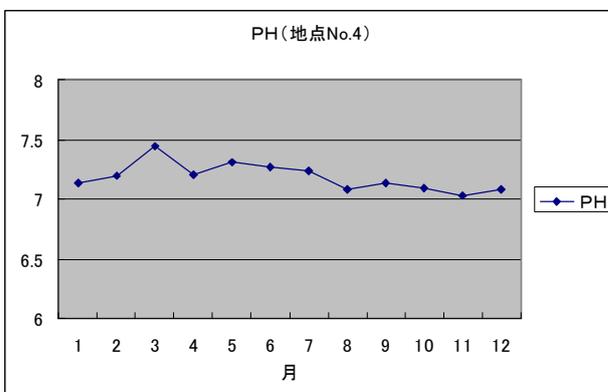
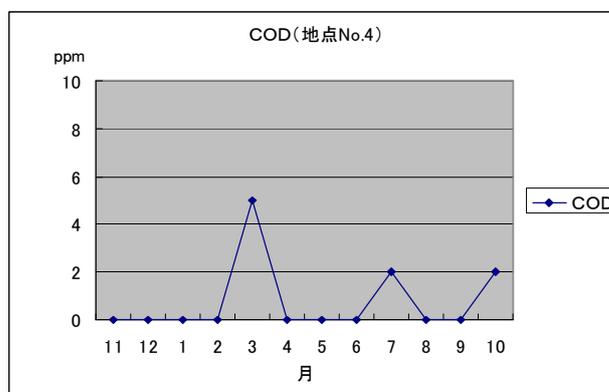
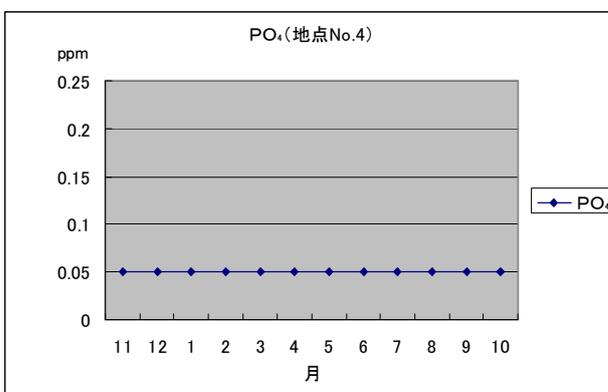
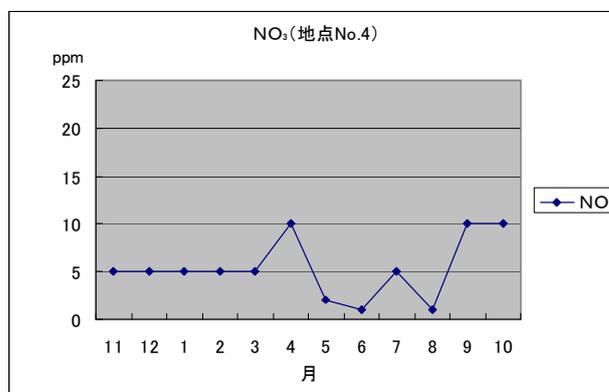
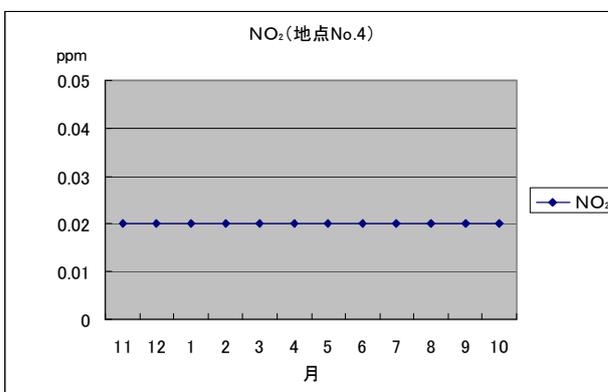
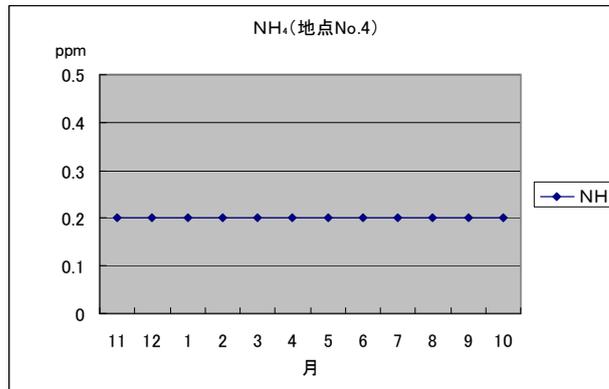
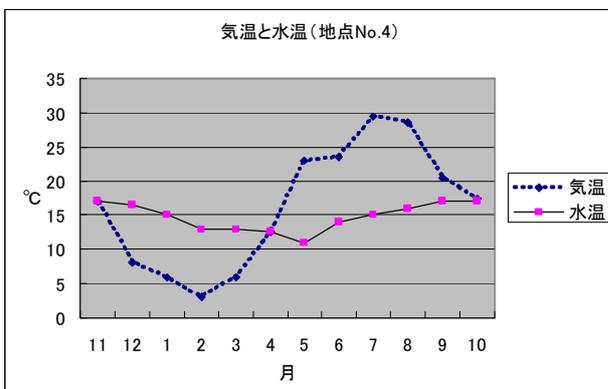
2) 地点 2



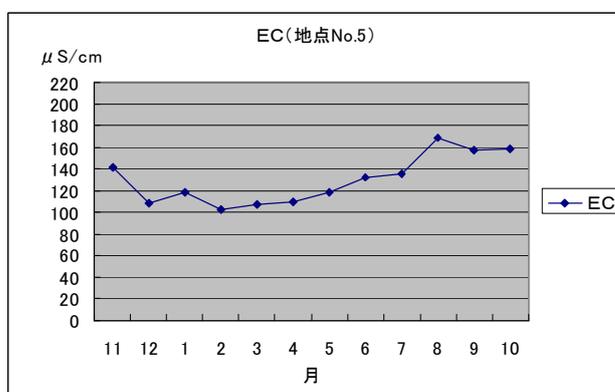
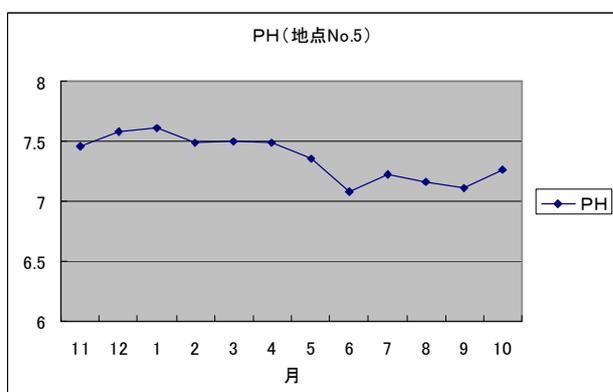
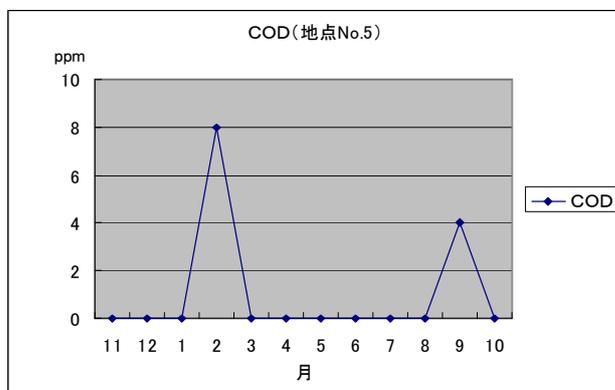
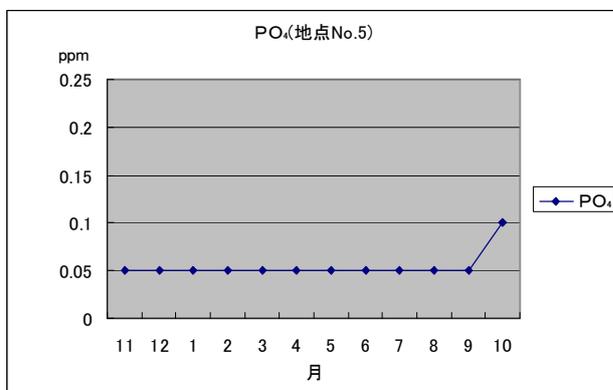
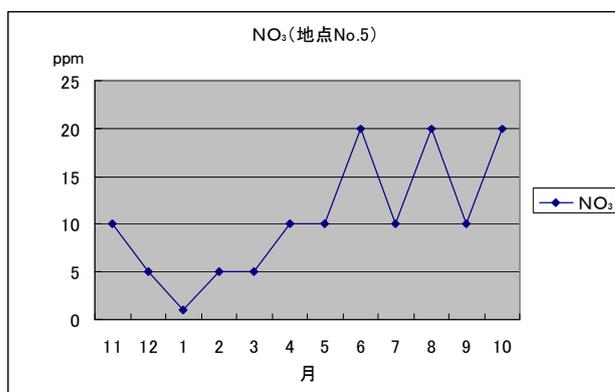
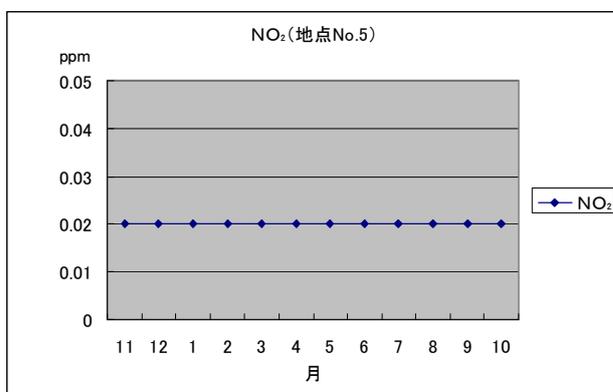
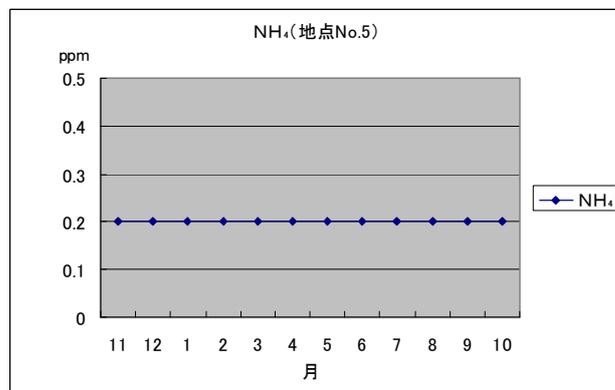
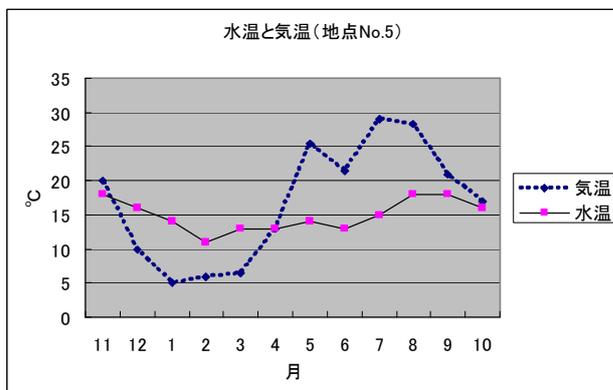
3) 地点3



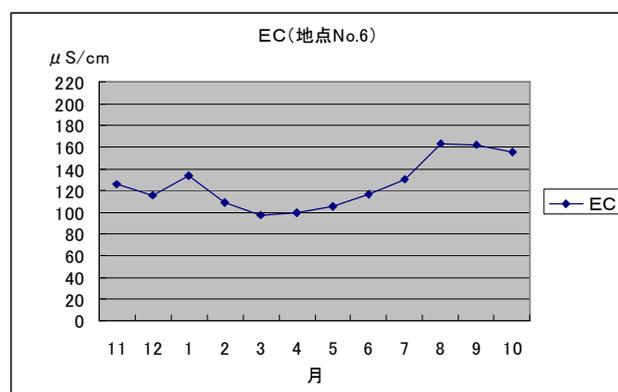
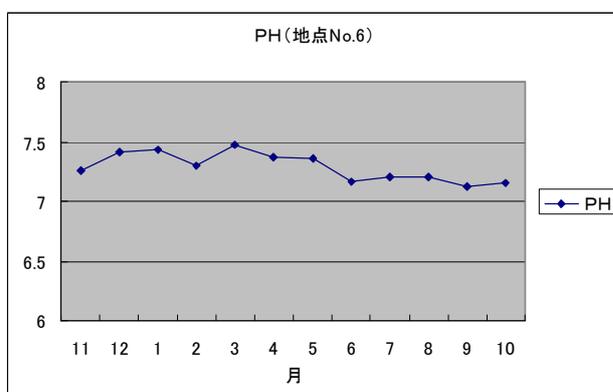
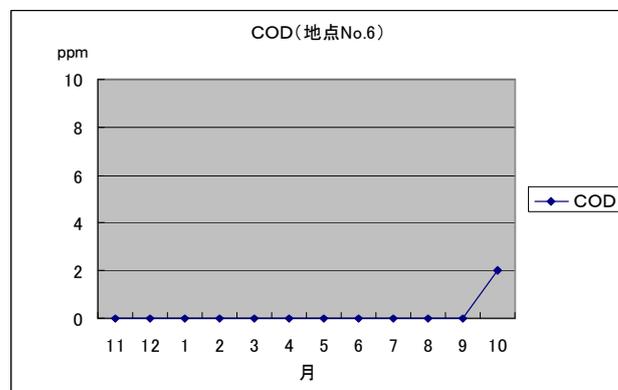
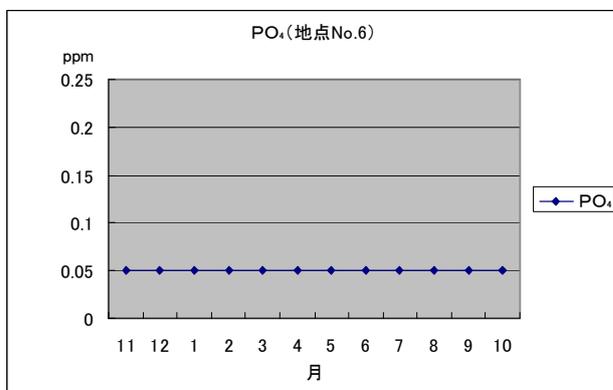
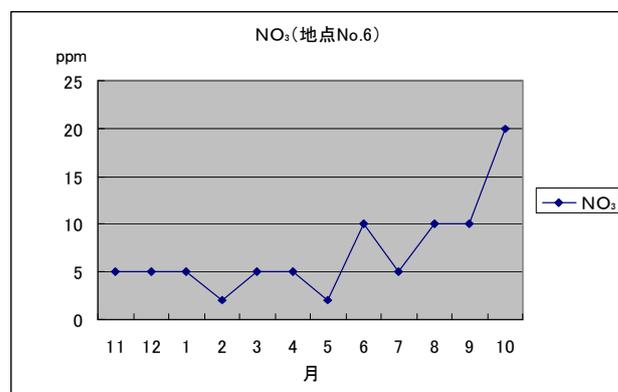
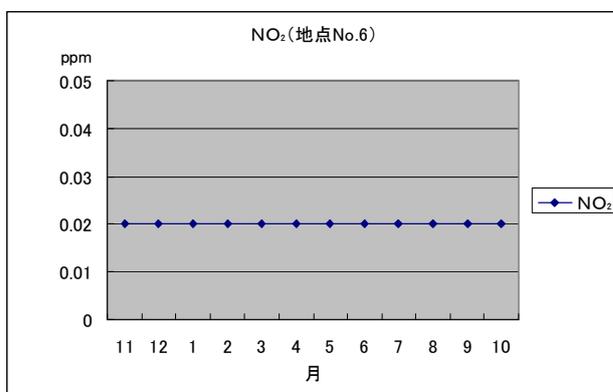
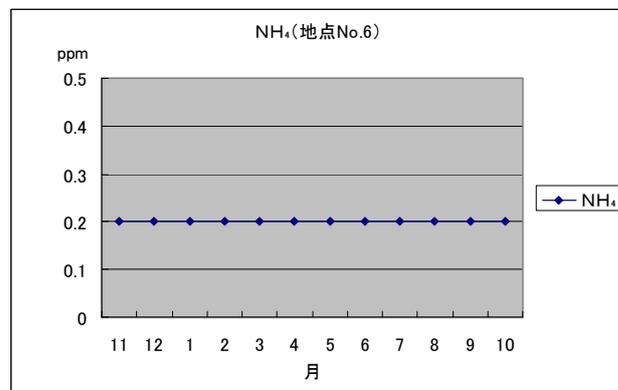
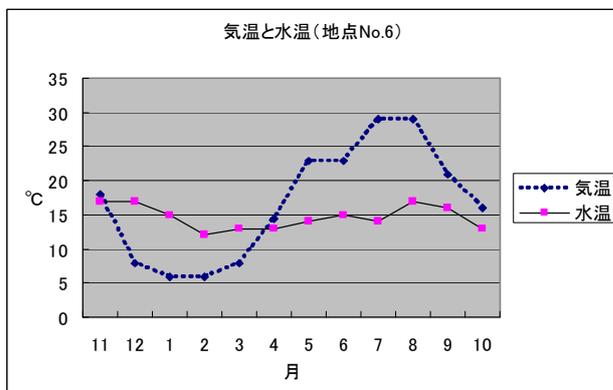
4) 地点 4



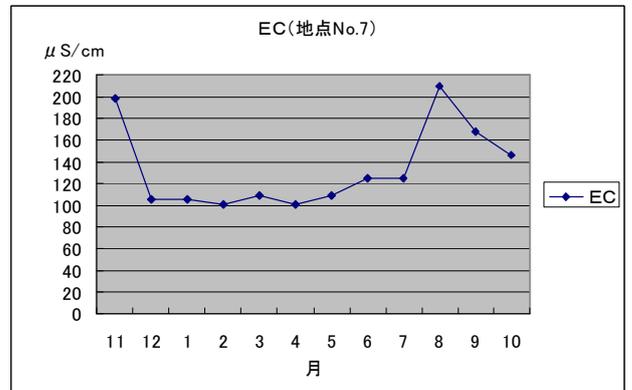
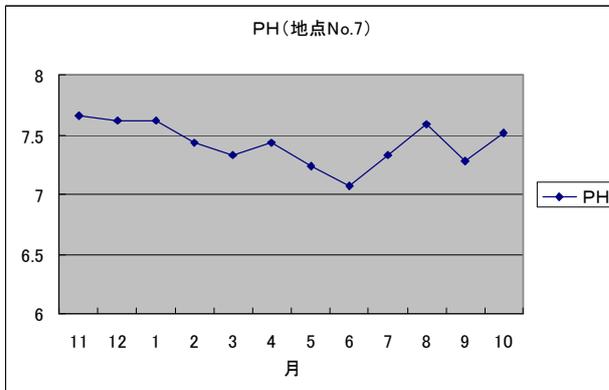
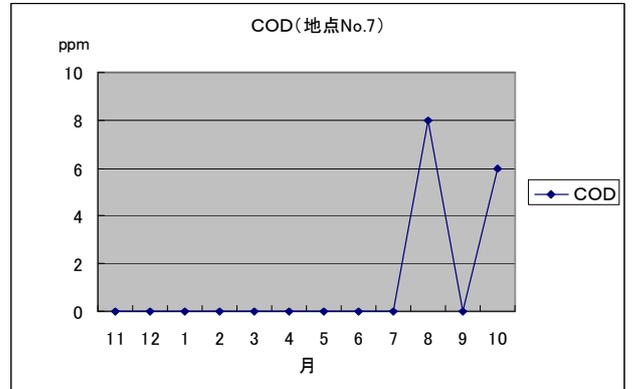
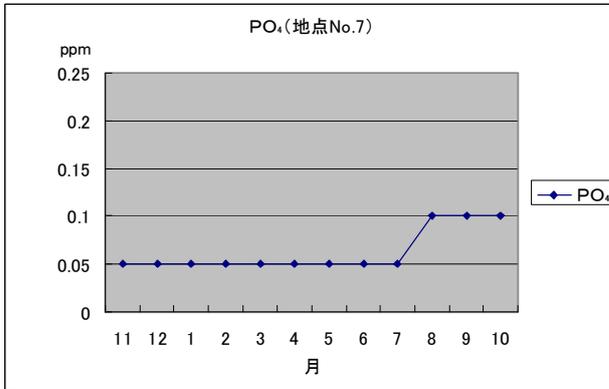
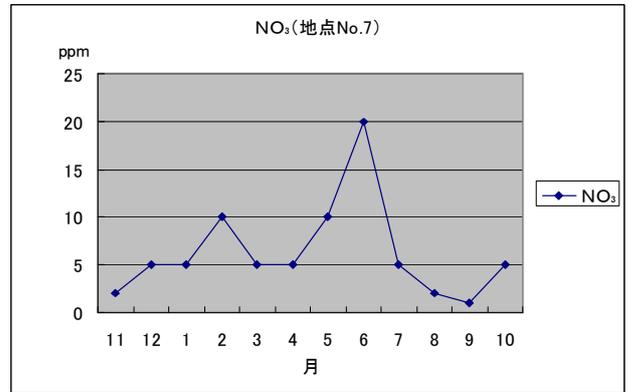
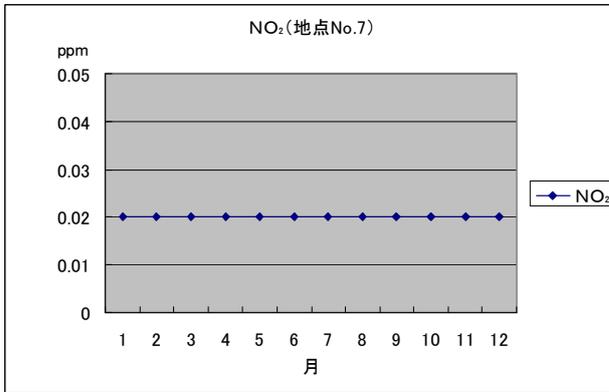
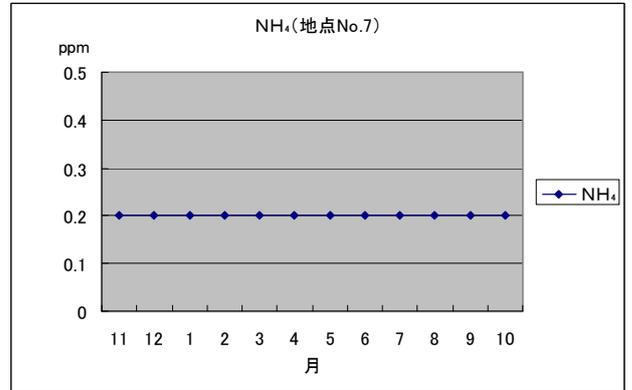
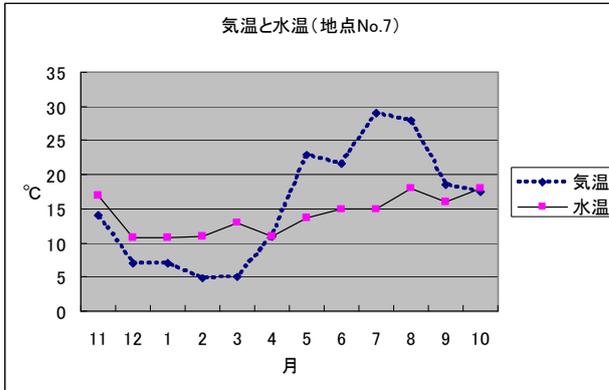
5) 地点5



6) 地点6



7) 地点7



8) 地点8

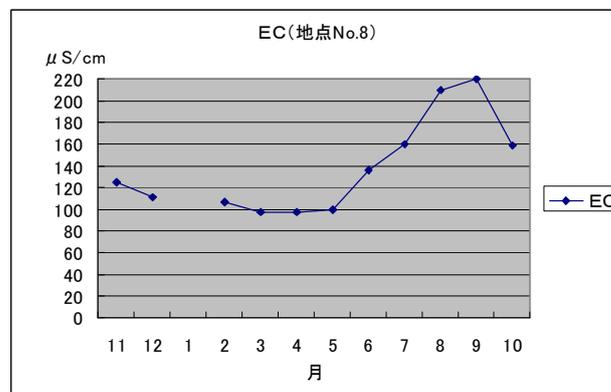
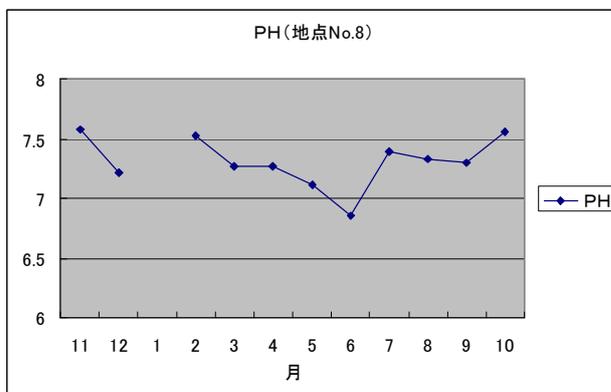
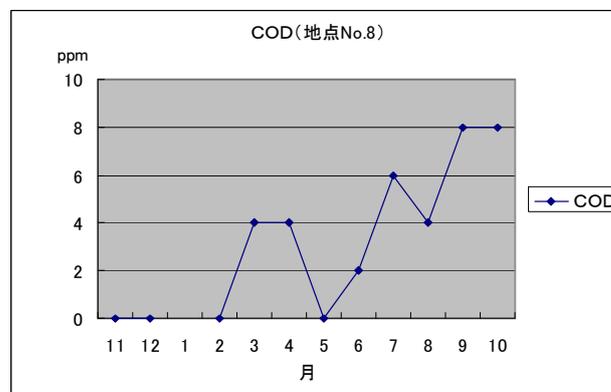
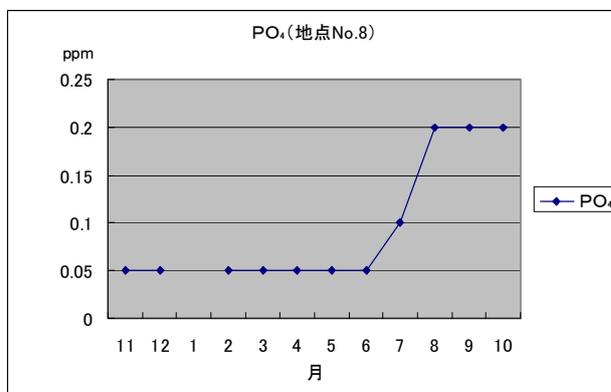
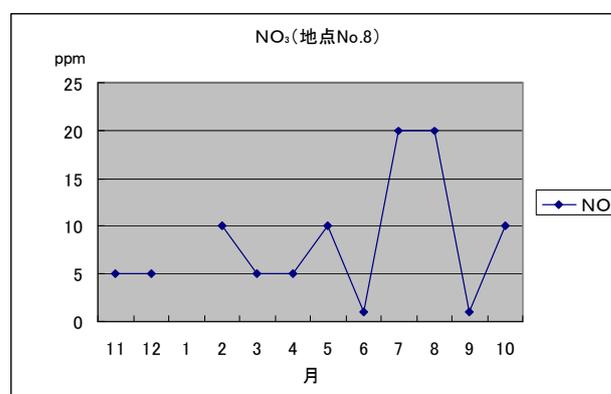
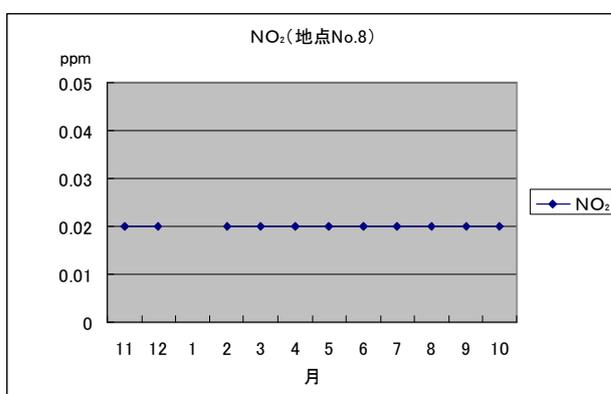
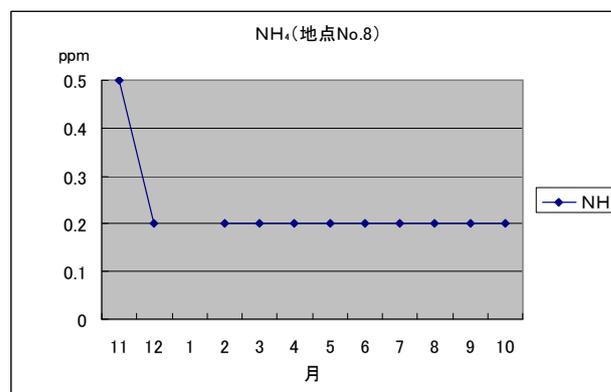
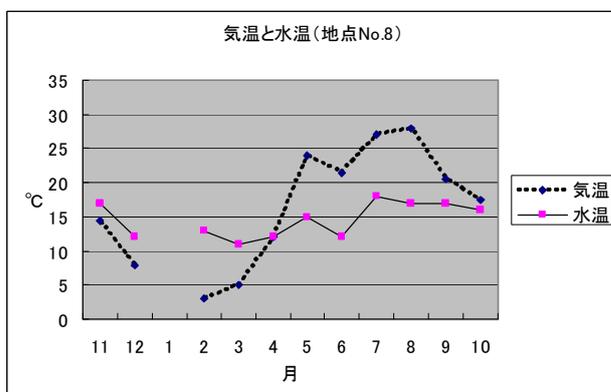


表 1. 各地点水質データ一覧

地点No.1												
調査月	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
気温	15	8	5	8	8	13.5	27	24	30	30	21	21
水温	17	14	12	10.5	10	11	14	14.5	18	20	18	17
NH <sub>4</sub>	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
NO <sub>2</sub>	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
NO <sub>3</sub>	5	2	2	2	5	5	2	5	2	5	1	2
PO <sub>4</sub>	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.1	0.2
COD	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	2
PH	6.85	7.18	7.2	7.23	7.17	7.26	7.03	6.87	6.74	6.74	6.66	6.79
EC	120	113	128	96	89	101	114	128	129	152	176	135

地点No.2												
調査月	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
気温	22.7	9.8	6	8	7.8	15	27.5	26.5	34.5	33	23	18.5
水温	18.8	17	15.2	15	13	14.5	15	15	17	17	17	17
NH <sub>4</sub>	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
NO <sub>2</sub>	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
NO <sub>3</sub>	20	20	20	20	5	10	20	20	20	20	2	20
PO <sub>4</sub>	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.1	0.05	0.05	0.1
COD	4	4	8	0	0	8	2	2	2	0	0	2
PH	6.36	6.34	6.48	6.5	7.8	6.54	6.49	6.45	6.31	6.23	6.25	6.22
EC	162	151	178	167	147	149	157	145	170	200	200	176

地点No.3												
調査月	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
気温	16	9	6	6.1	10	14	27	27	31	31.5	23.5	18.5
水温	18	17	14	14	13	13	13.5	16	15.5	17	18	17.5
NH <sub>4</sub>	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
NO <sub>2</sub>	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
NO <sub>3</sub>	10	10	20	10	10	10	10	2	20	20	20	20
PO <sub>4</sub>	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.01	0.05	0.05	0.2
COD	6	0	8	0	0	2	0	2	0	0	0	8
PH	6.48	6.69	6.77	6.79	6.7	6.86	6.63	6.55	6.55	6.45	6.49	6.42
EC	157	150	178	150	136	142	157	159	166	210	179	183

地点No.4												
調査月	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
気温	17	8	6	3	6	12.5	23	23.5	29.5	28.5	20.5	17.5
水温	17	16.5	15	13	13	12.5	11	14	15	16	17	17
NH <sub>4</sub>	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
NO <sub>2</sub>	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
NO <sub>3</sub>	5	5	5	5	5	10	2	1	5	1	10	10
PO <sub>4</sub>	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
COD	0	0	0	0	5	0	0	0	2	0	0	2
PH	7.13	7.2	7.44	7.21	7.31	7.27	7.24	7.08	7.13	7.09	7.03	7.08
EC	109	126	136	115	113	117	141	133	146	167	165	161

地点No.5												
調査月	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
気温	20	10	5	6	6.5	13	25.5	21.5	29	28.3	21	17
水温	18	16	14	11	13	13	14	13	15	18	18	16
NH <sub>4</sub>	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
NO <sub>2</sub>	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
NO <sub>3</sub>	10	5	1	5	5	10	10	20	10	20	10	20
PO <sub>4</sub>	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.1
COD	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	4	0
PH	7.46	7.58	7.61	7.49	7.5	7.49	7.36	7.08	7.22	7.16	7.11	7.27
EC	141	108	118	103	107	110	118	132	136	169	157	158

地点No.6												
調査月	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
気温	18	8	6	6	8	14.5	23	23	29	29	21	16
水温	17	17	15	12	13	13	14	15	14	17	16	13
NH <sub>4</sub>	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
NO <sub>2</sub>	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
NO <sub>3</sub>	5	5	5	2	5	5	2	10	5	10	10	20
PO <sub>4</sub>	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
COD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
PH	7.26	7.41	7.43	7.3	7.47	7.37	7.36	7.17	7.21	7.21	7.12	7.15
EC	126	116	134	109	98	100	106	117	130	163	162	155

地点No.7												
調査月	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
気温	14	7	7	4.9	5	11	23	21.7	29	28	18.5	17.5
水温	17	10.8	10.8	11	13	11	13.8	15	15	18	16	18
NH <sub>4</sub>	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
NO <sub>2</sub>	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
NO <sub>3</sub>	2	5	5	10	5	5	10	20	5	2	1	5
PO <sub>4</sub>	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.1	0.1	0.1
COD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	6
PH	7.66	7.62	7.62	7.43	7.33	7.43	7.24	7.07	7.33	7.59	7.28	7.52
EC	199	105	105	101	109	101	109	125	125	210	168	146

地点No.8												
調査月	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
気温	14.5	8		3	5	12	24	21.5	27	28	20.5	17.5
水温	17	12		13	11	12	15	12	18	17	17	16
NH <sub>4</sub>	0.5	0.2		0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
NO <sub>2</sub>	0.02	0.02		0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
NO <sub>3</sub>	5	5		10	5	5	10	1	20	20	1	10
PO <sub>4</sub>	0.05	0.05		0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.1	0.2	0.2	0.2
COD	0	0		0	4	4	0	2	6	4	8	8
PH	7.58	7.22		7.53	7.27	7.27	7.11	6.86	7.39	7.33	7.3	7.56
EC	125	111		107	97	97	100	136	160	210	220	159

## 5. まとめと考察

### 5-1. 各地点のまとめ

#### 1) 地点1

- ・気温・水温：気温は5℃～30℃、水温は10℃～20℃の変化であった。
- ・NH<sub>4</sub>：通年0.2ppm以下で、パックテストではほぼ検出されていないと考えてよい。
- ・NO<sub>2</sub>：通年0.02ppm以下で、パックテストではほぼ検出されていないと考えてよい。
- ・NO<sub>3</sub>：通年0.5ppm以下で非常に低い値を保っている。
- ・PO<sub>4</sub>：9月、10月で明瞭な数値の上昇が見られた。
- ・COD：通年2ppm以下で非常に低い値を保っている。
- ・pH：通年6.5～7.5の範囲内であり、大きな変動はなかった。
- ・EC：春季から夏季にかけて上昇する傾向が見られた
- ・その他：ハケ下に湧きだした水路の水を採水

#### 2) 地点2

- ・気温・水温：気温は6℃～34.5℃、水温は13℃～18.8℃の変化であった。
- ・NH<sub>4</sub>：通年0.2ppm以下で、パックテストではほぼ検出されていないと考えてよい。
- ・NO<sub>2</sub>：通年0.02ppm以下で、パックテストではほぼ検出されていないと考えてよい。
- ・NO<sub>3</sub>：多くの月で20ppmと、比較的高い数値を示している。
- ・PO<sub>4</sub>：7月、10月で若干数値の上昇がみられた。
- ・COD：0～8ppmと、比較的変動が大きかった。
- ・pH：3月のみ7.8と上昇するがほかは、6.5以下と低い数値を示している。
- ・EC：通年で140μs/cm以上と比較的大きな値となっている。
- ・その他：湧き水の流れ落ちる排水溝より採水。

#### 3) 地点3

- ・気温・水温：気温は6℃～31.5℃、水温は13℃～18℃の変化であった。
- ・NH<sub>4</sub>：通年0.2ppm以下で、パックテストではほぼ検出されていないと考えてよい。
- ・NO<sub>2</sub>：通年0.02ppm以下で、パックテストではほぼ検出されていないと考えてよい。
- ・NO<sub>3</sub>：1月と7～10月にかけて20ppmと、比較的高い数値を示している。
- ・PO<sub>4</sub>：10月に0.2ppmと数値の上昇がみられた。
- ・COD：11月、1月、10月に8ppmと、比較的大きな数値を示している。
- ・pH：通年7以下6.5前後と変動が少ない。
- ・EC：通年で140μs/cm以上と比較的大きな値となっている。
- ・その他：池の水を採水。池にはコイなどの魚類が飼育されている。

#### 4) 地点4

- ・気温・水温：気温は3℃～29.5℃、水温は11℃～17℃の変化であった。
- ・NH<sub>4</sub>：通年0.2ppm以下で、パックテストではほぼ検出されていないと考えてよい。
- ・NO<sub>2</sub>：通年0.02ppm以下で、パックテストではほぼ検出されていないと考えてよい。
- ・NO<sub>3</sub>：4月と9、10月にかけて10ppmと、若干数値の上昇がみられた。
- ・PO<sub>4</sub>：通年0.05ppm以下で、パックテストではほぼ検出されていないと考えてよい。
- ・COD：3月に5ppmと、若干数値の上昇がみられた。
- ・pH：通年7～7.5前後と変動が少ない。
- ・EC：春季から夏季にかけて緩やかに上昇傾向がみられる。
- ・その他：縞屋の滝。周辺は常緑樹林で被陰されている。

#### 5) 地点5

- ・気温・水温：気温は5℃～28.3℃、水温は11℃～18℃の変化であった。
- ・NH<sub>4</sub>：通年0.2ppm以下で、パックテストではほぼ検出されていないと考えてよい。
- ・NO<sub>2</sub>：通年0.02ppm以下で、パックテストではほぼ検出されていないと考えてよい。
- ・NO<sub>3</sub>：4月～11月にかけて10～20ppmと、数値の上昇および変動がみられた。
- ・PO<sub>4</sub>：10月を除き0.05ppm以下で、ほぼ検出されていないと考えられる。
- ・COD：2月と9月に5ppmと、若干数値の上昇がみられた。
- ・pH：通年7～7.5前後と変動が少ない。
- ・EC：春季から夏季にかけて緩やかに上昇傾向がみられる。
- ・その他：特になし

#### 6) 地点6

- ・気温・水温：気温は6℃～29℃、水温は11℃～17℃の変化であった。
- ・NH<sub>4</sub>：通年0.2ppm以下で、パックテストではほぼ検出されていないと考えてよい。
- ・NO<sub>2</sub>：通年0.02ppm以下で、パックテストではほぼ検出されていないと考えてよい。
- ・NO<sub>3</sub>：6月～11月にかけて10～20ppmと、数値の上昇がみられた。
- ・PO<sub>4</sub>：通年0.05ppm以下で、パックテストではほぼ検出されていないと考えてよい。
- ・COD：10月に5ppmと、若干数値の上昇がみられた。
- ・pH：通年7～7.5前後と変動が少ない。
- ・EC：春季から夏季にかけて緩やかに上昇傾向がみられる。
- ・その他：特になし

## 7) 地点7

- ・ 気温・水温：気温は 4.9℃～29℃、水温は 10.8℃～18℃の変化であった。
- ・ NH<sub>4</sub>：通年 0.2ppm 以下で、パックテストではほぼ検出されていないと考えてよい。
- ・ NO<sub>2</sub>：通年 0.02ppm 以下で、パックテストではほぼ検出されていないと考えてよい。
- ・ NO<sub>3</sub>：2月～6月にかけて 10～20ppm と、数値の上昇がみられた。
- ・ PO<sub>4</sub>：8～10月を除き 0.05ppm 以下で、ほぼ検出されていないと考えられる。
- ・ COD：8月に 8ppm、10月に 6ppm と、若干数値の上昇がみられた。
- ・ pH：通年 7～7.5 前後と変動が少ない。
- ・ EC：8月と11月に 200 μs/cm 以上と大きな値となっている。
- ・ その他：特になし

## 8) 地点8

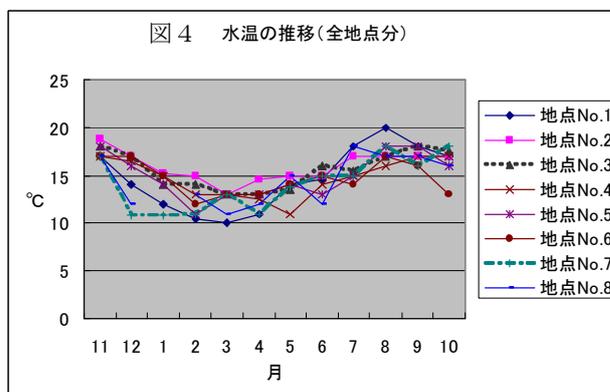
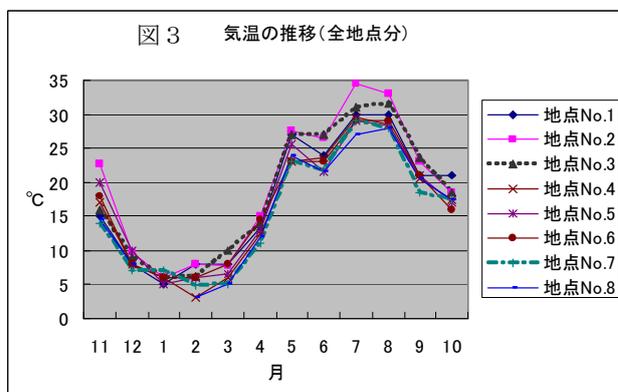
- ・ 気温・水温：気温は 3℃～28℃、水温は 11℃～18℃の変化であった。
- ・ NH<sub>4</sub>：11月に 0.5ppm を検出したが、通年 0.2ppm 以下ときわめて低い値であった。
- ・ NO<sub>2</sub>：通年 0.02ppm 以下で、パックテストではほぼ検出されていないと考えてよい。
- ・ NO<sub>3</sub>：7月、8月に 20ppm と、数値の高い状況がみられた。
- ・ PO<sub>4</sub>：7月に 0.1ppm、8～10月に 0.2ppm と、比較的高い測定値となっている。
- ・ COD：2月～10月にかけて 4～8ppm と、数値の上昇変動がみられた。
- ・ pH：通年 7～7.5 前後と変動が少ない。
- ・ EC：8月と9月に 200 μs/cm 以上と大きな値となっている。
- ・ その他：1月は湧水量がほとんどなく欠測。

## 5-2. 全体のまとめ

### 1) 気温と水温

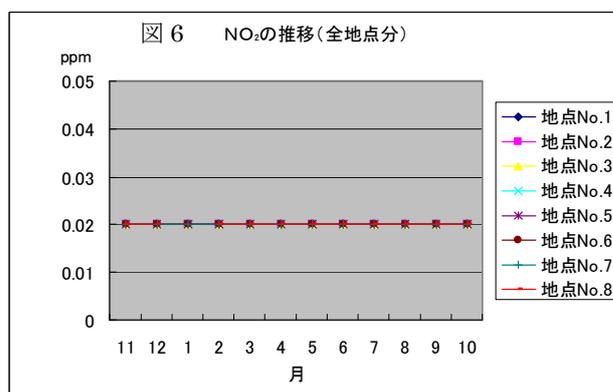
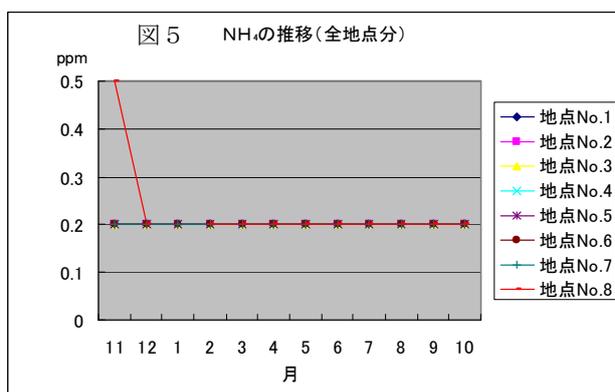
気温、水温ともに全地点で変動の傾向はほぼ一致していました（図3、図4）。

水温は 10℃～20℃の範囲内に収まり、池や排水口から採水したのも湧き水起源であることは間違いないと考えられます。



## 2) NH<sub>4</sub> (アンモニア) とNO<sub>2</sub> (亜硝酸)

これらの項目はいずれも動植物の腐敗物、排泄物等が原因となっている、水の汚染をはかる代表的な指標です。これらの数値はNO<sub>2</sub>では、すべての地点および時期で、NH<sub>4</sub>では地点8の11月（初回の検査なので測定エラーの可能性も考えられます）を除いて、いずれもパックテストで検出可能な最低値を下回っていました（図5、図6）。

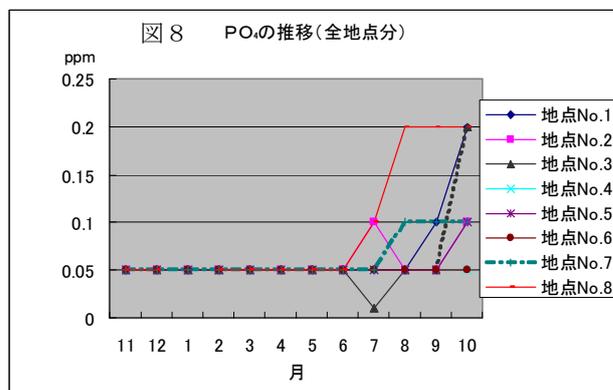
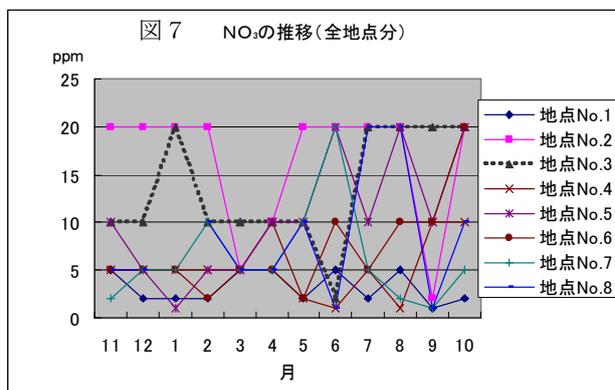


## 3) NO<sub>3</sub> (硝酸)

硝酸はアンモニア、亜硝酸が酸化されることによって生成されます。調査地では、地点2と地点3で通年高く、そのほかの地点では春季から夏季にかけて高くなる傾向がありました（図7）。地点2と3については、湧き水の出ている池の水を採水し、池には魚類が飼育されていることから一年を通して高い数値であることが考えられます。とはいうものの数値からみた水の汚れのレベルはきわめて低いものです。

## 4) PO<sub>4</sub> (りん)

りんの出発源はほとんどの場合、家庭用洗剤などと推定されます。調査地では夏季から秋季にかけていくつかの地点で高くなる傾向が見られました。これはおそらくハケやのり面などに混じった表流水の影響であると考えられます。いずれにしても数値からみたりんの検出量はきわめて微量であるといえます。

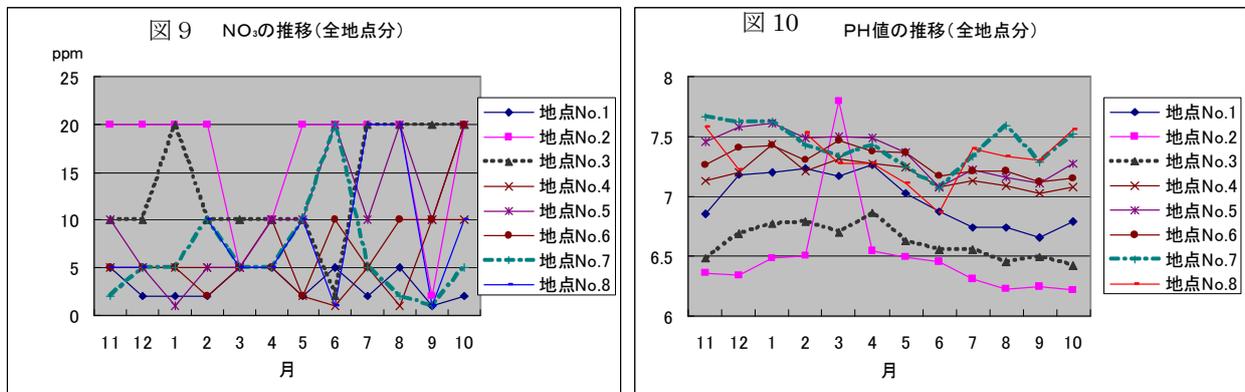


### 5) COD

CODも代表的な水の汚れの指標で、主に生活排水が流れ込むとその数値は高くなります。調査地では池に湧き出ている水を採水した地点2と地点3での数値が高めですが、これも水の汚れという指標の観点から見ればきわめて低い値です。

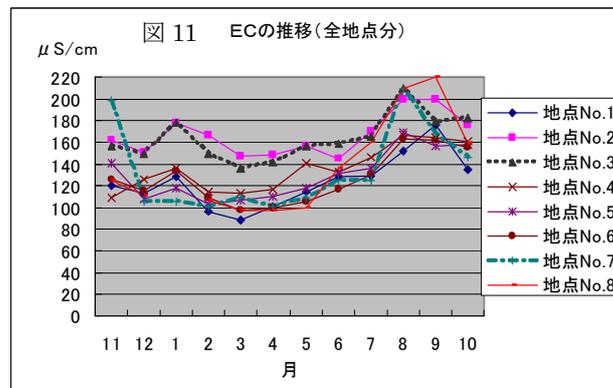
### 6) pH

調査地全体の傾向としては夏季から秋季にかけて少しずつ数値が下がる、つまり酸性化している傾向が読みとれます。これは梅雨や秋雨などの地表に降った雨の酸性度が高いことと関係があるかもしれません。地点2と地点3では、ほかの地点より低い数値ですが、これも池という降雨を集めやすい場所の影響が出ているものと思われます。



### 7) EC

電気伝導率は、水に溶けている電解質の多さを示します。調査地全体では、pHと同様に夏季から秋季にかけて高くなる傾向がみられます。また、一年を通してやはり地点2と地点3では数値が大きいのが特徴です。



## 6. 湧き水周辺環境の調査

### 6-1. 段丘崖の植生

福生の地形は鳥の目で見れば比較的平坦な台地ですが、いくつかの段丘面から構成されています。ちょうど階段を下りるように多摩川へ向かって段丘面がみられます。一番高い面は八高線が通っているあたりの立川段丘、次は青梅線の走る拝島段丘、そして一部の地域にはその下段に天ヶ瀬段丘、千ヶ瀬段丘が分布しています。2章でもふれましたが、福生市内に現存するすべての湧き水はこれらの段丘のうち、拝島段丘、天ヶ瀬段丘の段丘崖から湧きだしたものです。段丘崖の急な斜面は人間にとっては家を建てたり畑を拓いたりするには適していなかったため、古くから樹林として守られてきました。現在では、福生市内の重要なみどりの拠点となっているほか、鳥やけものなどの動物のすみかや移動経路、私たち人間にとっても美しい景観を提供するなど大変貴重なものといえます。福生市の湧水が枯れることなく現在も見られる一つの要因として、この段丘崖の植生はとても重要な位置を占めると考えられます。

段丘崖の植生を概観すると、まず樹高が20m近いような高木層と樹高が5~6m程度の低木層、そして草本層からなっていることがわかります。ほとんどの樹林にはかつてより人の手がかわっていますが、湧き水が出ているような地点では比較的自然的性の高い樹林が維持されています。高木層を代表するのは落葉広葉樹ではケヤキ、コナラ、エノキなどです。中でもケヤキは、湧き水の出るような段丘崖が元々生育に最も適した場所と考えられ、今回の調査でも多くの場所で見られました。常緑広葉樹ではアラカシが代表的です。このアラカシも傾斜の急な比較的湿った山地斜面に多く分布する植物です。特に拝島段丘崖ではアラカシが多く、うっそうと茂っているのが確認できます。福生市内では立川段丘崖のコナラやイヌシデを中心とした明るい雑木林と好対照な一面を見せています。低木層では、落葉広葉樹ではムクノキ、エゴノキなど、数が多いのは常緑広葉樹のシロダモ、ヤブツバキ、ヒサカキなどで、最近ではアオキやシュロのすがたも目立ちます。これらの低木層がよく見られるのは今回の地点では地点4（縞屋の滝）から地点6までの段丘崖の林です。

### 6-2. 湧き水周辺の生き物

今回調査したいくつかの湧き水調査地点のうち、特徴のある地点について周辺で観察できる生き物について簡単にまとめました。

#### 1) 地点1（水窪）

周辺の樹林はケヤキ、スギ、ヤブツバキなど。水の湧き出し口や水路周辺にはセキショウ、タネツケバナ、ヒメカンスゲ、リュウノヒゲ、クマワラビ、ヤブソテツなど、また栽培逸出と考えられるワサビの生育も確認される。

#### 2) 地点2（清岩院）

池からつながる水路にはカワニナ、サワガニを確認。

### 3) 地点3 (逆川)

湧き水が湧出している個人宅の池から流出する水路には、ウグイ、コイ、カワニナ、トビケラ類、水生植物ではセキショウが生育。オニヤンマ、ハグロトンボの飛来も確認。

### 4) 地点4 (縞屋の滝)

周辺の樹林はケヤキ、アラカシ、スギ、エノキなど。低木、林床にはヤブツバキ、クサギ、シロダモ、トウネズミモチ、シュロ、アオキなどが生育。滝の落ち口周辺にはセキショウ、ヤブソテツが広く覆っている。また同地点より 50mほど下流側 (拝島寄り) には福生市内ではめずらしいサイカチが生育。

### 5) 地点5～6 (ほたる公園周辺)

周辺の樹林は高木層はケヤキ、アラカシとモウソウチク林などが中心で、一部にシラカシも分布。低木層はヤブツバキが多く、そのほか斜面にはアオキ、ヤツデ、ヒサカキ、シュロなど。公園のり面にはショカツサイ、ハルノノゲシ、ヒロハギシギシ、ヨモギ、カラスウリ、ヨウシュヤマゴボウ、クコ、ヤブソテツ、クマワラビ、オオバイノモトソウ、そのほか水路周辺にはオランダガラシ、セリ、オヘビイチゴ、ツルヨシ、ガマ、ノハカタカラクサ・タガネソウ、セキショウなどを確認。

### 6) 地点7

周辺の樹林では高木はケヤキが中心、そのほかシロダモ、イロハモミジ、アオキなど。せせらぎ遊歩道の草地ではムラサキカタバミ、オオイヌノフグリ、ヤブジラミ、ヤブソテツ、ソクズ、フッキソウなどが生育。水路内にはコカナダモ、コウホネのほか水生生物ではカワニナ、トビケラ類、モンカワゲラを確認。

### 7) 地点8

樹林はケヤキ、アラカシ、シラカシなどの高木とヤブツバキ、アズマネザサ、モウソウチクなど。林床にはヤツデ、セキショウ、タネツケバナ、ノハカタカラクサを確認。

### 8) どうどう橋周辺

常時湧水が見られる場所ではないため、今回は湧き水調査対象とはしていませんが、かつてはその名の通り、「どうどう」と水が湧きだしていたと考えられる地点です。場所は福生南公園のどうどう橋歩道の下流側のハケです。現在はわずかに水がしみ出る程度です。周辺の樹林はケヤキ、コナラ、クヌギ、イヌザクラなどの落葉広葉樹が中心で低木や林床には、ヌルデ、カマツカ、ヤマブキ、ノイバラ、オニドコロ、アオキ、アズマネザサ、シュロなどがみられ、比較的乾いた立地の樹林となっているのが特徴です。